

標高350～400mのあたりにミズナラが多い。

・鍋倉山

ヒツバカエデ、ツノハシバミ、イワナシ、ハコヤナギ、ノリウツギ、ムラサキマユミ、ヤマボウシ、ミヤマイタチシダ、イタヤカエデ、ヤブコウジ、カンアオイ、マツブサ、ヤブコウジユ、ヤマジノホトトギス、モミジハグマ、アカシヨウマ、ヤマソテツ、サルナン、キブシ、ハクウンボク、ハリガネワラビ、トチバニンジン、ナツツバキ、コバノイシカグマ、ギンリョウソウ、

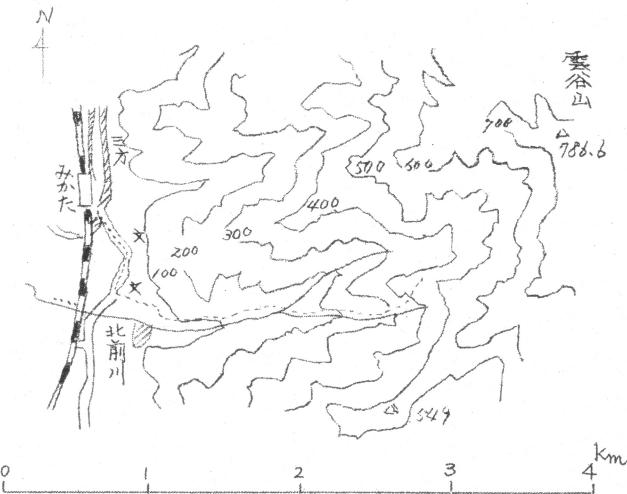
(寒蝉義一記)

三方郡三方町方面植物採集記

昭和34年7月19日に若狭地方の植物にくわしい今井長太郎氏の案内で三方町北前川谷の採集を行つた。前日および夜中に豪雨があり心配されたが、当日は朝から雨が上り、降らず照らずの採集にはあつらへむきの天候であつた。同行者は博物館から堀館長、竹内、高橋の両氏および小生の4名、武生方面から三村、上坂、八田の3君、地元の三方および本郷から5名であつた。特に武生の3名はいつも熱心で、今回も遠路をわざわざ参加されたことに対して敬意を表したい。また案内された今井先生は72才とかの高令にもかかわらず元気旺盛で、その謙虚を披瀝されると共に未知を未知とする謙虚な態度には頭の下る思いがした。

主な採集品は次の如くである。(採集順)

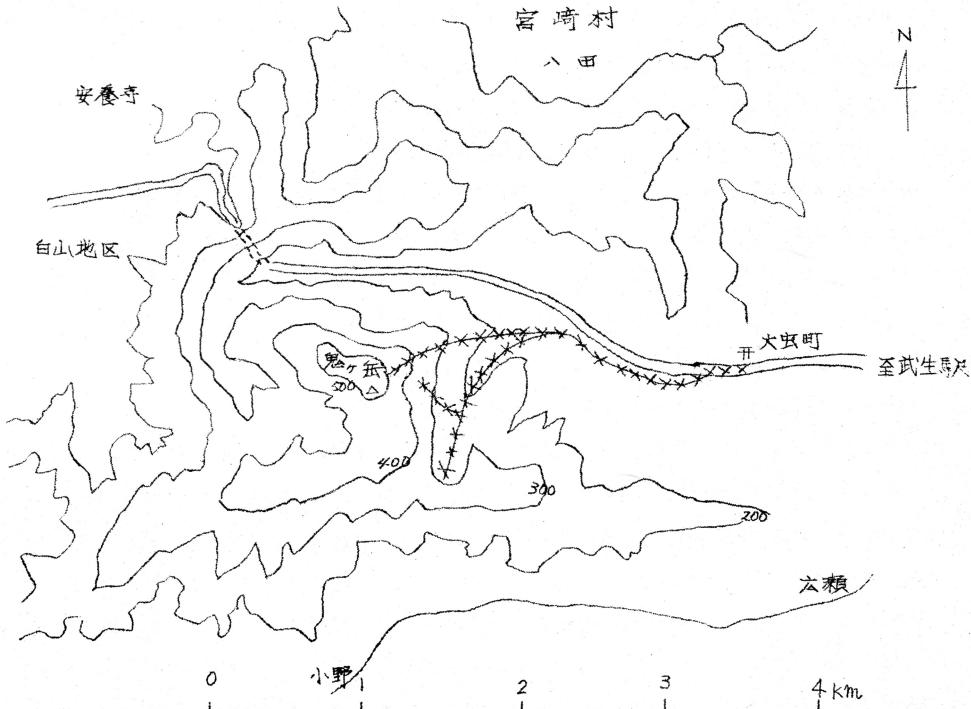
ヤプラン、フモトシダ、ヤマイタチシダ、サワアジサイ、イブキシダ、ティカカズラ、マメヅタ、ウマノミツバ、ヤマカモジ、キツネガヤ、ウラジロ、タチシノブ、ノコギリシダ(群落一ヶ所)、ヒメワラビ、イワヒメワラビ、ミヤマミズ、キブシ、イタビカズラ、ゴトウヅル、ホラシノブ、イヌシダ、モミジチヤルメルソウ(水辺、越前にはない)オウヒメワラビ(少ない)ホソイ、ヤマコウバシ、アカガシ、シラキ、シラヤマギク、ハカタシダ、ヘビノネゴザ、イワ



ギボウシ、ハイタムラソウ、サトメシダ、カラスザンショウ、ヤマアイ、マツカゼソウ、ミヤマカタバミ、ノガリヤス、スミレサイシン、アカシヨウマ、クロモジ、ヒメヤシヤブシ、ウリカエデ、ハシカグサ、サラシナシショウマ、カナクギノキ(越前にはない)、コマユミ、ミカエリソウ、ミヤマベニシダ、タチネズミガヤ、ヤマイヌワラビ、ゴマナ(ここより南方には見当らぬ?)、ナツツバキ(開花中)、ミヤマハハソ、ヤブニツケイ、ツチアケビ、イワナン、サイコクミツバツツジ、(越前にはない)、ミズナラ(高度約400mで出現)
タムシバ、ソヨゴ、イチヤクソウ、ベニドウダン、アマヅル、イモノキ、アセビ(極めて多い)
ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、バイカオウレン、ヤブデマリ、イワウメヅル、オオモミジ、オオバアサガラ、

(寒蝉義一記)

武生市鬼ヶ岳植物採集記



昭和34年10月25日、武生市の大虫地区と白山地区の境にある鬼ヶ岳(Ca532)の植物採集を行つた。